豊幼

豊洲幼稚園だより　11月号

令和８年１０月３０日
江東区立豊洲幼稚園
http://www.koto.ed.jp/toyosu-yo/

一人一人の育ちが輝いた運動会

副園長　夏井　史子

先日の運動会では、子どもたち一人一人の成長を感じる、たくさんの素敵な姿が見られました。

年中組では、探検家になりきることを大切にし、**物語仕立ての展開で運動会当日までの気持ちを高めて**いきました。こどもたちの元に海賊から手紙が届いたり、鍵を探したり、当日の衣装がプレゼントされたりと、**遊びの中で少しずつ運動会への期待が膨らんでいきました。**「絶対に宝箱の鍵を見付けるぞ！」そんなワクワクする気持ちで迎えた当日。とうとう鍵を見付け、宝箱の中からメダルが出てきた時のこどもたちのキラキラした笑顔！保護者の皆さんも、温かいまなざしでこの光景をご覧になっていました。

年少組では、普段、ダンスになると緊張して体が固まってしまうお子さんがいました。すぐに踊ることを求めるのではなく、**その子の気持ちが動き出すまで**、担任の先生はゆっくりと待つことを大切にしてきました。すると、ある日突然、誰よりも生き生きと踊り始めたのです。踊りも完璧に覚えていて、運動会当日もにこにこ笑顔で怪獣になりきって表現していました。見ているこちらも、本当に嬉しい気持ちになりました。**子どもが自分から「やってみたい」と思える瞬間を信じて**待つことの大切さを、改めて感じました。

年長組では、初めからマット引きやバルーンがうまくいったわけではありません。先生や友達からの励ましを受ける中で、少しずつ自信へと変わっていきました。そして運動会当日には、作戦を立てたり、みんなで気持ちを一つにしたりして堂々とやり遂げる姿が見られました。**周りの人に支えられながら、一歩ずつ自信をつけ、自分の力を発揮していく姿**に、年長組らしい頼もしさを感じました。

運動会で見られた姿は、**日々の遊びや生活の中で、心を動かし、挑戦し、時には立ち止まりながら、一人一人が自分のペースで積み重ねてきた成長の表れ**です。これからも、子どもたちの「やってみたい」という気持ちを大切にし、それぞれの育ちに寄り添いながら、自分らしく輝けるような保育を重ねていきたいと思います。

